

信行寺 / 「絆基金」 ボランティア助成 報告書

団体名 (面瀬学習支援)

(文) 学部 (2) 年 氏名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

2012年の春、夏に引き続き、この度3回目の学習支援の活動をさせていただきました。子どもたちとの活動をさせていただく立場として、一番うれしいことは、子どもたちの成長を間近で感じる事ができるということです。春より夏、夏より、冬と、会うたびに面瀬の子どもたちは健やかに成長しています。震災という大きな経験の中にも、若い世代の成長は確かなものがあり、こうした「これからの世代」との交流の中で、私たちも、一緒に成長していただいている実感があります。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

序々に復旧作業が進んでいることを町全体の様子から感じます。しかしながら、物理的な復旧が終っても、これからどのように新しい生活を築いていくのかという地域と、個人の課題があります。子どもたちの学習支援を行う私たちには求められることは、とにかく継続して子どもたちと交流を続けることだと思います。その交流の中で、学校や家庭ではできないような経験もさせてあげること、子どもたちの健やかな成長に携わりたいと考えております。子どもたちがより豊かであることが、地域の活力になると考えます。

3. 被災地支援のアイデア (企画、具体的な活動内容など) を記入して下さい。

現在、私たちは「勉強会」を開催する形で、学習支援を行っています。学校の宿題を教えたり、一緒に遊んだりする中で、子どもたちと大学生の交流を深めています。今後はこの勉強会が子どもたちにとってより豊かな学習の場となるように努めていきたいと思っています。具体的には、ただ机に向かう勉強をするだけでなく、体験学習や地域の方を招いた講演などを企画していく予定です。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

この度は大変なご支援をいただきましてありがとうございました。おかげさまで、有意義な活動となりましたことをご報告いたします。今後とも面瀬の子どもたちの健やかに成長のために、同じ若い世代として微力ながら活動を続けてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名（ 面瀬学習支援 ）

（ 文 ）学部 （ 4 ）年 氏 名（ ）

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

子ども達にとって我々大学生は記憶に残る存在としてしっかり認知されているということに驚いた。私は去年の春に彼らと会ったきりで、自分自身全員の名前と顔が一致していたわけではなかった。しかし彼らはしっかり私のことを覚えており、素直に口に出す子は少ないが歓迎してくれた。自分たちは彼らに必要とされていると感じることができ、しっかり子ども達と向き合っていかなければならないという使命感を改めて確認することができた。

前回会わなかった子やあまり接点がなかった子には優先的にコミュニケーションを取りに行った。人懐こかったり、人見知りしたり色々な児童生徒がいたが、大人と比べて頑固でないので、向かい合った数に比例して心を開いてくれることを学べた。このような認識を確立できたのは大きいと思う。

学習に関してははじめをつけさせることが難しい子もいた。しかし一対一でしっかり話し合うことで、子どもが目的意識をもって物事に取り組む考え方は刺激できたと思う。こうしたはじめある指導を少しでも実践し、感じることは私にとって一番大きな収穫だった。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

これまでは東方支援と言ってきたが、対象としている地域が面瀬地区だけであった。比較的大きな地区での活動が中心だったので、もっと小規模な地域に視点を絞る必要性がある。その前提となるのが継続性であり、これからもなんらかの形で被災地との繋がりを保ち続けることが一番の課題である。そして東北で感じたことを東京に戻って、多くの人に伝える広報活動も大切なことだと思う。

3. 被災地支援のアイデア（企画、具体的な活動内容など）を記入して下さい。

これまでの活動内容がマンネリ化しているため、学習支援を続けるなら勉強だけでなくイベントを盛り込むことを一つ挙げる（お祭りや花火大会など）。

またこれまでは児童生徒を対象とした活動をしてきたので、直接面瀬への支援、もっと広い地域に貢献したいと思っている。何かご要望があれば我々は何でもするので、是非ともお声をかけていただきたい。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

偏にこのような活動ができるのは、現地の皆様が我々を支えてくださっているからに尽きます。遅ればせながら、ここで感謝の気持ちを表します。

今回で三回目となりましたが、まだまだ団体としては規模が小さく、我々も手探りしながらことを進めております。次回からはメンバーも大きく変わり、至らないことも多いと思いますが、これからも一生懸命知恵を絞っていく所存です。これからも何卒宜しくお願いします。

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名（ 中央大学面瀬学習支援 ）

（ 文 ）学部 （ 2 ）年 氏 名（ ）

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

中央大学面瀬学習支援としては、現地の教師の「子供らしさの喪失」（大人の言うことをすんなり聞くようになってしまった）という声からその子供らしさを取り戻そうという理念の基、去年の春から活動をしてきた。そんな中、現在の子どもたちが一年前と同じような問題性を孕み、また同じような状況にいるのかという疑問が大きく残っている。これまでの活動の中で被災の話を冗談交じりで話す子どもたちを見てきて、子どもたちのレベルではあるが、それが冗談の対象という扱いだとしても精一杯受け止めつつあると感じたのである。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

今現在の子どもたちの状態を、被災前の様子を知る子どもたちを取り巻く大人たちや、また出来れば本人からも聞き出し、我々が把握することで一年前の状態との比較から我々の理念や目標、活動形態を見直し、現在の子どもたちに目を向けた活動を行っていくべきだと感じる。物理的にも、精神的にも、身体的にもありとあらゆる面における変化を再確認し、まさに今必要とされる活動を行っていく必要があると感じるのである。

また、現地の知識に乏しい外部の者である我々がしっかりと現地を熟知し、また地域との繋がりを作ることが活動を行う上で大事であると感じている。

3. 被災地支援のアイデア（企画、具体的な活動内容など）を記入して下さい。

今求められていることをしっかりと把握し、そのニーズに対応した活動を学生、また現地の人にとっては外部の人であることを踏まえ、可能な範囲の中で最大限行っていくことが大事だと考える。

もし依然として上記に述べた子どもらしさの喪失が存在するなら、現在我々が企画している学習支援という形態ではなく、子どもたちのニーズに合わせた、子どもたちにもっと寄り添った活動を取り入れるべきであると感じる。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

まずはじめに、私たちの活動へのご支援を頂き誠にありがとうございます。学生という本業の傍ら、ご支援いただいている被災地ボランティアにとっても恵まれた環境で参加させて頂けていることに心から感謝いたします。今後の方向性は今だどうなるか分かりませんが、これからもご支援への感謝と活動への誇りをもって励んでいこうと思っています。

以上

2013年()月24日 提出

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 (函瀬学習支援)

(文) 学部 (2) 年 氏名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

ボランティア、特にこの学習支援のようなボランティアを継続して行わなければならない意味が薄いとこのこと、ボランティアを受け入れていた自治体の地域の方々のそのことへの強い実感、ボランティアのニーズはまだまだ尽きないこと。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

今回の函瀬から比較的大きな地域での活動だったが、もっと規模の小さい地域での活動。(タクシーの運転手さんからの要望)

あるいは現地が少し離れて、有事の際片付けなどよりスムーズに行うための法整備。(所有者の不在により片付けが遅れている現状から)

3. 被災地支援のアイデア(企画、具体的な活動内容など)を記入して下さい。

国会議員10数人程度によるボランティアを企画する。内容は泥かきや片付けなどにあゆる土音のものが多い。もちろん議員に現状を体験してもらい、それを国会でいかに目的のつたが、むしろそれと取材するであろうマスメディアの力を活用し多くの人に「まだ復興への程遠い地域もある」ということを発信するのかもしれない。震災から2年が経つ今、議員が10数人、視察ではなく実作業をするとなれば話題性は十分にあると思う。議員にとってもし、いっぺんの場になったので悪い話ではないかな。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

今日は活動に補助をいただき、ありがとうございます。

去年の夏、大島でのボランティアにも参加したのですが、それ以来長期休暇ごとに東北入足を運ぶ、様々な経験をさせていただきました。このきっかけをきっかけに感謝するのは浅野代表です。ほんとうにありがとうございます。

以上

2013年 1月 7日 提出

信行寺 / 「絆基金」 ボランティア助成 報告書

団体名 (ほまろいんせ)
(法) 学部 (4) 年 氏名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

今回で 5 回目の面瀬中仮設での活動となりましたが、その度に新たな学びがあると感じています。その中で、新しい年を向え、増え高齢化が進む中、高齢者の方が新たな健康面での問題を抱え、しかし生活面での改善が一向に計り出せない。復興の遅れが仮設で暮らす住民の方に焦り、不安、不満をつのうせていることが顕著になっていいると感じました。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

我々のような学生ボランティアが継続して支援を続け、ただでなく、東京に戻って何をすべきか、支援の輪を広げるにはどうすれば良いのかと、もっと積極的に考えなければならぬと感じた。また、これから社会に出ていく卒業予定者が被災地の現実を知ること、社会、自分の役割を再び見つめ直す時間が作れるのを感じている。

3. 被災地支援のアイデア (企画、具体的な活動内容など) を記入して下さい。

被災地において、各サークルや体連、文化連盟等が活動を生かした支援 (スポーツ教室、吹奏楽、オーケストラ等の演奏)。また OB 等に呼びかけ、法律相談等、中央大学の特色、強みを生かした支援の可能性はありと考える。また、本校において被災体験を語り、聞く場を設けることができればと思った。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

今回も浅野様の御支援により、我々学生の経済的負担が少なく活動ができましたことを心より御礼申し上げます。

何と変わって行かない被災地の現場を肌で感じることや、被災者の方の声に耳を傾けるという正に今しかできない、生きた学びを得ることができました。本当にありがとうございました。 以上

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名（面瀬学習支援）

（商）学部 （5）年 氏 名（ ）

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

私は今回の活動を開始する前まで、学習支援が本当に東日本大震災の復興支援につながっているのだろうか、という大きな不安がありました。瓦礫撤去や清掃活動などの直接的な支援とは異なり、学習支援活動は間接的な支援と言えると思います。そのような間接的な支援が、現地のニーズに合っているのかと自問しながらの活動開始となりました。

しかし、その不安も現地での活動中に子どもたちや保護者の方々、そして地域の方々から言われた「いつもありがとう。また来てね。みんな楽しみに待っているから。」といった言葉で払拭されました。

確かに私たちの活動は、町が復興していくことが目に見える形で直接認識出来るものではありません。ですが、活動対象である現地の子どもたちは、将来被災した故郷を復興させ日本を担っていく“宝”です。そのような宝である子どもたちの成長の一助を、私たちはお手伝いさせていただいているのだと幸せに感じるとともに、これが学習支援活動の意義だと私は考えることが出来ました。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

東日本大震災から2年が経とうとしています。マスメディアでの報道も徐々に減り、国民の関心は確実に薄れてきていると感じます。活動中に地域の方から「とにかく、被災地を忘れないでほしい」と言われました。実際に被災地を視てみると、まだまだ津波や地震の傷跡はいたる所に残っており、復興が進んでいないのが感じられました。そのような状況もあり、現地の方々には忘れられることに強い恐怖を感じているようでした。

被災地支援にはたくさん手段があります。直接現地に入って活動するだけが被災地支援ではありません。全国民が、それぞれの立場でできる被災地支援は何か？を今一度考えることが必要だと思います。これにより、改めて被災地に関心が向く事が期待できます。

3. 被災地支援のアイデア（企画、具体的な活動内容など）を記入して下さい。

1.でも述べましたが、現地の子どもたちは被災した故郷を復興させなければなりません。そのためには、震災前がどんな町だったのかを知る、思い出すことが必要だと考えます。

そこで、地域の年配の方々と子どもたちが交流する場を設け、震災前の町並みや人付き合い、地域の独特な風習や文化を伝えていくことが考えられます。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

この度は、私たちの活動趣旨にご賛同いただき、特段のご支援を賜りましたこと、心より厚くお礼申し上げます。私は大学在学中は資格取得や教員採用試験のために、なかなかバイトをすることができず奨学金で生活をしておりました。このような私にとってボランティアの活動資金を援助していただけるというのは本当にありがたいものです。ありがとうございました。

以上

2013年 1月23日 提出

信行寺 / 「絆基金」 ボランティア助成 報告書

団体名 (面瀬学習支援)

(文) 学部 (4) 年 氏名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

今回の学習支援は、私自身にとって春以来の2度目でしたが、改めて子どもは日々成長するということ、また一つ一つの成長を認め褒めることの大切さを学びました。子どもたちは各家庭によって、複雑な環境の中で暮らしている子どもも多くいました。そうした環境の中でも、子どもたちなりにがんばって勉強している姿や、以前にはあまり見られなかった年下の子どもたちの面倒を見る高学年の子どもたちの姿を見て、春よりも成長しているなど感じましたし、そうした成長を認め褒めることで、子どもたちは自信をもって、より意欲的に勉強等に取り組むようになったと感じました。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

震災から約2年が経とうとしているのが、改めて感じたのは、被災復興は完全ではないということです。それにもかかわらず、以前に比べてマスメディアにあまり取り上げられなくなり、少し風化しつつあるのではと危機感を感ずました。今後私たちがすべきこととしては、風化させないために、出来るだけ多くの人に私たちがどういった活動をしていたのか、またそこで何を感ずたのかを伝え、1人でも多くの方が復興のために何ができるのか考え行動できるようにすることと私には考えます。

3. 被災地支援のアイデア (企画、具体的な活動内容など) を記入して下さい。

被災地復興支援ツアーとして、東京から現地に行き、実際(被災地)の方の話を聞いたり、津波の被害にあつたこの見学をするようなツアーをもっと活発にしていきたいと思っています。それだけでなく、市場の見学もいれることで、現地の方の経済的支援ができてほしいです。また東京でも、例えば百貨店などで行われている北海道展のうちに、東北復興支援展として開催し、地元の名物を売るだけでなく、現地の様子を写真でおとした展覧会も同時に行うことで、より多くの人に現状を知ってもらおうとかけたいと思っています。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

今回の私たちの活動に理解を示してくださり、またサポート頂きありがとうございます。今日の経験を、4月から教員となるので子どもたちにもぜひ伝えたいと思っています。

2013年 / 月 18日 提出

信行寺 / 「絆基金」 ボランティア助成 報告書

団体名 (面瀬学習支援班)

(文) 学部 (4) 年 氏名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

震災の風化が進んでいる中、子供たちの話を聞いているとまだ記憶に新しい事々だった。新しい家に引っ越したり、仮設住宅から別の仮設住宅に移動したりなど、以前より生活が良くなったと報告してくれた子供が数人あった。子供たちは仲良くお話をした。特に日頃関わることはない小学生と中学生の交流は改めてその意義があったと思う。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

面瀬中学校では、校庭が仮設住宅に使われていて、体育の授業では小学校で10分ほど歩かなくてはならないために体育の授業の授業時間が往復時間のために減り、満たされていない状況だと聞いた。今の活動は小学生が大抵なので、中学生の参加者を増やす運動をして、中学生とカバを動かしたい。

3. 被災地支援のアイデア (企画、具体的な活動内容など) を記入して下さい。

個人個人との交換日記

長い日記ではなく、一言でよい。

子供たちとより親しくなり、本音をより引き出せるかもしれないという理由から、毎日参加してくる子には効果的だが、たまにしか参加できなければいけないのが難点。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

ありがとうございます。魚がとて美味しくて、星が綺麗で気仙沼という場所がとて好きです。また行かせていただきます。またよろしくお願ひ致します。

以上

2013年 / 月 25日 提出

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 (面瀬学習支援)

(高) 学部 (4) 年 氏 名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

、子どもの話を「子どもの話」だと軽んじることなく、相手を尊重する態度で話をきく大切さを感じることができました。

、子どもたちとの触れ合いや、「また来よ」という声から、この活動をする意義を実感し、また、こうした「形」には残らない被災地支援の必要性を感じることができました。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

、面瀬学習支援の活動は、震災により失われてしまった「子どもがした」を取り戻せるように、という目的で行ってききましたが、今後も、子どもたちがリラックスできる、思い、より遊ぶことのできる場を作ることが必要だと思います。

3. 被災地支援のアイデア（企画、具体的な活動内容など）を記入して下さい。

、今回のような、宿題の手伝いや遊びだけでなく、創作活動や、散歩などの活動を行い、より子ども達にとって充実した期間とする。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

、今回の活動では、私自身とても得るものがあり、良い経験をさせていただくことができました。
ご支援ありがとうございました。

以上

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 (面瀬学習支援)

(文) 学部 (2) 年 氏 名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

被災者、特に子供たちは、大学生や来るボランティアをよく見ているということを改めて感じた。それだけ誠意のある態度が必要であるし、なぜ支援するのか、どういった目的・考えがあつて支援するのか、そういったことを明確にする必要があると再確認した。また、体調管理をきちんと個人の責任で行うことなど、慣れのために初期のころから忘れてしまっていることを、もう一度確認すべきと思った。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

自分の関わっている子どもという世代に関しても関係する大人のことを考えてみても、継続的に支援することが必要だと思う。この時期に三陸に入っているほとんどが同じ考えだと思うが、一口に自立のための支援だと言っても、自立のための何かを仕掛けただけではならないと思う。あれだけの災害を経験した被災地の住民の感情は計り知れないものであり、2年が経とうとしているこの時期で、震災直後に比べ多少の余裕が出てきた住民がふと当時を振り返ることもあろう。そういったときに常に気にかけている存在がいるということ伝えることが必要だと思う。

3. 被災地支援のアイデア（企画、具体的な活動内容など）を記入して下さい。

現時点では特にありませんが、子どもたちが被災地の未来の担い手となることを意識した企画を行っていきたいです。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

わたしは二つの団体に所属し、本当に多くの学びと、人とのつながりと、普段大学の中ではできない経験を得ています。そのような数々の宝は、こういった援助がなければなしえなかったことであります。寄付金を下さったみなさまに恩返しができるよう、また、みなさまが寄付金をくださったことが少しでも社会のために意味のあることであつたと感じていただけるよう、現地でも東京でも自分にできることを行っていきたくてかんがえております。今後とも、よろしく願いいたします。

以上